

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	総合的就業・生活支援事業推進費	<b>担当部局庁</b>	職業安定局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成21～23年度	<b>担当課室</b>	首席職業指導官室	首席職業指導官 伊藤 正史				
<b>会計区分</b>	労働保険特別会計雇用勘定	<b>施策名</b>	II-1-1:ハローワークの需給調整機能の強化、労働者派遣事業の適正な運営確保により、労働力需給のミスマッチ解消を図る					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	雇用保険法第62条第1項第5号	<b>関係する計画、通知等</b>	平成21年1月30日付け職発0130008号「緊急雇用創出事業の実施について」等					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	雇用失業情勢が厳しい中、離職を余儀なくされた方など求職者の生活の安定及び再就職の促進を図るため、道府県等が行う生活・就労支援事業とハローワークが行う職業相談・職業紹介等を一体的に実施する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	道府県等が緊急雇用創出事業により造成する基金を活用して「求職者総合支援センター」を設置し、生活・就労に関する相談支援を行う場合に、国が同センターに職業相談員を配置し、職業相談・職業紹介等を行うことにより、求職者に対する総合的な就業・生活支援を実施する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	384	336	348			
		補正予算						
		繰越し等						
		計	384	336	348			
		執行額	216	287	299			
	執行率(%)	56.3%	85.4%	85.9%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	求職者総合支援センターにおける就職率	成果実績	%		28.9%	33.8%	39.8%	
		達成度	%		289.0%	169.0%	132.7%	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	求職者総合支援センターにおける新規相談者数	活動実績 (当初見込み)	人		76,990	88,116 ( 70,000 )	74,087 ( 84,000 )	
					-			
<b>単位当たりコスト</b>	3,396 (円/新規相談者数)		算出根拠	職業相談員(緊急雇用創出事業担当)に係る謝金(執行額)/新規相談者数 = 251,573千円/74,087人				
平成24-25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	厳しい雇用失業情勢の中で、生活・就労相談と職業相談・職業紹介をワンストップで行う支援は重要。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	生活・就労相談は地方自治体が実施し、職業相談・職業紹介は国が実施する役割分担で実効を上げている。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	-
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	予算の大半は、職業相談員に係る諸謝金であり、事業実施箇所に適正数を配置した。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	予算の大半は、職業相談員に係る諸謝金であり、事業実施に不可欠のものである。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	求職者総合支援センターにおける職業相談・職業紹介は、就職率で高い実績(39.8%)を上げている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	23年度の就職率は目標値を上回った。(目標達成率132.7%)
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	23年度の新規相談者数は目標値を下回った。(目標達成率88.2%)
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	-
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	求職者総合支援センターを全国58所に整備し、生活・就労支援のために十分に活用。
点検結果	<p>・求職者総合支援センターに配置した職業相談員による職業相談・職業紹介について、新規相談者数は目標を下回ったものの、就職率は目標を大幅に上回る実績を上げた。</p> <p>・緊急雇用創出事業が平成23年度末で終了することに伴い、本事業についても、当初予定どおり同年度末で終了。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
-			-
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			-
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	685	平成23年行政事業レビュー	620

国

厚生労働省  
299百万円



【予算示達】

都道府県労働局(40局)  
299百万円

・地方自治体が設置する求職者総合支援センターに、国が職業相談員を配置し、  
職業相談・職業紹介等を実施

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					